

テーマ たぬき

しよめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
たぬきがいっぱい	さとう わきこ／作・絵	フレーベル館	エホン/サ	ぼくがたいこをもっていると、たぬきにあいました。たぬきはぼくにばけま す。そのあとあうたぬきたちも、ぼくにばけます。みんなでたいこをたたき ながらもりにいくと、もりじゅうのあかちゃんがおきてしまいました。ぼくとた ぬきたちはどうするのでしょうか。
うまかたとこだぬき	香山 美子／文 野村 たかあき／画	教育画劇	エホン/ノ	むかし、うまかたがこだぬきをたすけてやった。うまかたは、おれいにて つだいをしにきたこだぬきをたいそうきにいった。あるひ、やちんをはらえ ないうまかたのために、こだぬきは、おかねにばけるのですが…。
まあちゃんのまほう	たかどの ほうこ／作	福音館書店	エホン/タ	まあちゃんはまほうのことばをとなくて、おかあさんをたぬきにかえてし まいました。しんばいになったまあちゃんは、もとにもどすおまじないをと なえました。たぬきはちゃんとおかあさんにもどりました。でも、いつものお かあさんらしくありません。
ごろはちだいまようじん	中川 正文／さく 梶山 俊夫／え	福音館書店	エホン/カ	むらのひとは、いたずらされるとこまるので、ごろはちのことを「ごろはち だいまようじんさま」とよんでいました。あるひ、むらはずれにせんろがひ かれ、えきができました。あつまってきたむらびとたちは、きしゃがきてい るのに、せんろからはなれようとしません。そのとき、ごろはちがきしゃの まえにたちはだかりました。
しっぽ5まんえん	清水 敏伯／作 岡本 颯子／絵	ポプラ社	エホン/オ	あるひ、たぬきのポンはたいせつなしっぽをなくしてしまった。さがしま わってやっとみつけたしっぽは、ふるぎやで5まんえんでうられていた。だ けどポンはそんなおかねをもっていない。ポンはしっぽをかうために、どう やっておかねをつかったのでしょうか。
こぎつねコンとこだぬきポン	松野 正子／文 二俣 英五郎／画	童心社	エホン/フ	こぎつねコンはいつもひとりであそんでいました。ともだちがほしいなあ とおもいながら、きにのぼって、あたりをみまわしましたが、みえるのはき ばかりでした。ところが、そのときどこからか、かすかなうたごえがきこえて きました。コンにともだちはできるのでしょうか。